

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年3月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 和算資料「志鎌文庫」の寄贈について
2. 「夢からビジネスへ」山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター  
4月から開発研究をスタート
3. ダダチャマメ新品種「アベチャ 33」が品種登録
4. 学生が編纂した“スマイルエンジン山形の活動記録本”出版
5. ガジャマダ大学(インドネシア)と大学間交流協定を締結
6. サラマンカ大学(スペイン)と大学間交流協定を締結
7. 山形大学附属博物館を活用した中学生向けの体験学習プログラム  
「一日山大生になろう！」を開催

### お 知 ら せ

1. 平成24年度 置賜マイクロ・ナノバイオフィォーラム  
「微生物反応を利用した産業創出 ～生命・化学・産業～」を開催
2. 山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年3月21日(木) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年3月5日  
山形大学

## 和算資料「志鎌文庫」の寄贈について

山形市八日町「志鎌家」に伝わる貴重な和算資料を ご寄贈いただきました。

このたび、山形市八日町「志鎌家」に伝わる貴重な和算資料を 志鎌安紀良様より、本学  
小白川図書館に ご寄贈いただきました。

いただいた和算資料は、志鎌家のご先祖で、和算「最上流」五伝の志鎌小平治安重(18  
53 - 1936)氏が収集したものなど146点で、山形市出身の和算家「会田算左衛門安明  
(1747 - 1817)」直筆の和算書も多数含まれています。

山形県は江戸時代に和算の非常に盛んなところであり、安明は、江戸期最大の和算流  
派である関流(始祖:関孝和)に対抗して最上流を打ちたてた和算家であり、約2000冊の著  
作があります。また、関流の藤田貞資の「精要算法」を批判し「改精算法」を出版したことか  
ら、関流と最上流とで論争が始まり、この論争が以後20年余続き、数学を知らない一般の  
人たちにまで数学への関心を持たせることになったということでもよく知られています。

4年後には没後200年の記念の年を迎えようという、この時に、志鎌家より、安明直筆の  
著作を多数含む和算資料がご寄贈されましたことは、本学にとって誠に有難くよろこばしいと  
ころであります。

いただいた資料は、大変貴重な学術資料でありますので、「志鎌文庫」と名づけ、末永く大  
切に保管し、本学のみならず地域の皆様などの学術研究に役立てていただきたいと考えて  
おります。

(お問合せ先)  
小白川図書館 細谷  
電話 628-4902

## 志鎌文庫（和算資料）について

最上流を創始した会田算左衛門安明の代表的著書としては、幾何の問題を扱った「算法天生法」、和算書の教科書として最高の評価を得ている「算法天生法指南」、江戸時代に出版された有名な和算書 19 冊を批評した「算法古今通覧」等が知られています。

このたび、志鎌家からご寄贈いただいた和算関係資料 146 点のうち、会田安明の「直筆」本は 62 冊で、その中で「算法天生法」に関連する著書は、番号 52、53 の「算法天生法」です。

また、「算法天生法指南」に吸収された著書は、番号 46 - 51 の「算法本源集」です。

### 【52 算法天生法】



### 【49 算法本源集】



### 【6 貫通術】



次に重要と思われる「直筆」本は、「貫通術」、「諸約混一術」です。「貫通術」は番号 6 - 14 で、例えば三角形や四角形に内接する円の性質を五角形や六角形に内接する円の性質に拡張することを会田安明は「貫通術」と呼んでいます。

### 【71 諸約混一術】

「諸約混一術」は番号 69 - 71 で、未知数を二つ与えて、これを求める方法です。



「算法側円集」は番号 43 から 45 で、楕円に関する研究です。楕円の焦点（当時は臍とよんでいる）を初めて発見したのは会田安明です。

### 【45 算法側円集】



山形大学小白川図書館には、佐久間文庫、柳原文庫、鈴木文庫の和算書が約 2000 冊ほどありますが、ほとんど写本です。このたび、志鎌家からご寄贈いただいた和算書は、会田安明の「直筆」本のほか、会田の直弟子の渡辺一の写本や斎藤尚仲の「直筆」本、山形で宗統を継承した最上流二伝高橋仲善と三伝斎藤忠吉などの「直筆」本があり、大変貴重な和算書ばかりです。

(注)「直筆」: 和算所の表表紙に「直筆」と付箋のついているもの。

番号	表題	著・编者名	刊写別	請求記号	登録番号	備考(紀年)
1	圓内隔斜容圓術	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//1	111205642	
2	圓理孤背真術	最上流 會田算左衛門安明編		419.1//シカマ//2	111205643	
3	改精算法	鈴木安明 撰		419.1//シカマ//3	111205644	天明五年
4	改精算法正論	神谷定治知由述		419.1//シカマ//4	111205645	天明五年
5	改精算法改正論	鈴木安明 撰		419.1//シカマ//5	111205646	天明六年
6	貫通術 三斜内隔三斜容三圓術 初巻	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//6	111205647	
7	貫通術 三斜内容圓之通術 上	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//7	111205648	
8	貫通術 三斜内容逐圓之通術 地	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//8	111205649	
9	貫通術 三斜内容逐圓之通術 人	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//9	111205650	
10	貫通術 逐斜懷圓之通術	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//10	111205651	
11	貫通術 二圓罅容異圓術 上	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//11	111205652	
12	貫通術 二圓罅容異圓術 中	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//12	111205653	
13	貫通術 二圓罅容異圓術 下	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//13	111205654	
14	貫通術 二圓罅容逐圓通術二條	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//14	111205655	
15	換式法	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//15	111205656	
16	局術	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//16	111205657	
17	極差法	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//17	111205658	
18	球題集 上	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//18	111205659	
19	球題集 下	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//19	111205660	
20	結斜容圓術	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//20	111205661	
21	解惑算法	會田安明 著		419.1//シカマ//21	111205662	天明八年
22	解惑訂誤	神谷幸吉定令著		419.1//シカマ//22	111205663	寛政二年
23	交商法	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//23	111205664	寛政二年
24	交商法			419.1//シカマ//24	111205665	
25	五圓之術起源	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//25	111205666	
26	鈎股本源集起源 一	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//26	111205667	
27	鈎股本源集起源 二	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//27	111205668	
28	鈎股本源集起源 三	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//28	111205669	
29	鈎股本源集起源 四	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//29	111205670	
30	鈎股本源集起源 五	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//30	111205671	
31	鈎股本源集起源 六	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//31	111205672	
32	鈎股本源集起源 七	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//32	111205673	
33	作式術集	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//33	111205674	
34	三斜矩合集	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//34	111205675	
35	算法本源輯 五			419.1//シカマ//35	111205676	
36	算法本源輯起源 十一	鈴木彦助安明子貫著		419.1//シカマ//36	111205677	
37	算法本源輯 一十三	鈴木安明子貫著		419.1//シカマ//37	111205678	
38	算法本源輯起源 一十四			419.1//シカマ//38	111205679	
39	算法本源集起源 一十五			419.1//シカマ//39	111205680	
40	算法本源集起源 一十六	會田算左衛門安明著		419.1//シカマ//40	111205681	
41	本源集起源 一十七			419.1//シカマ//41	111205682	
42	本源集起源 一十八			419.1//シカマ//42	111205683	
43	側圓類起源 一十九	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//43	111205684	
44	側圓類起源 二十	自在 會田安明子貫撰		419.1//シカマ//44	111205685	
45	算法側圓集 二十一	自在 會田算左衛門安明著		419.1//シカマ//45	111205686	
46	算法本源集 二十三			419.1//シカマ//46	111205687	
47	算法本源集 二十四	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//47	111205688	
48	算法本源集 二十五	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//48	111205689	
49	算法本源集起源 二十六	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//49	111205690	
50	算法本源集雜記 天	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//50	111205691	
51	算法本源集雜記 地	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//51	111205692	
52	算法天生法 四	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//52	111205693	
53	算法天生法 上	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//53	111205694	天明戊申
54	算法交會術遍約題集成 坤	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//54	111205695	
55	算法交會術遍約題集成 乾	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//55	111205696	
56	算法貫差法 安明編	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//56	111205697	
57	算法集	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//57	111205698	寛政九年
58	算法廓如	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//58	111205699	
59	算法非撲乱	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//59	111205700	寛政十三年
60	標題起源 一	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//60	111205701	
61	標題起源 二	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//61	111205702	
62	標題起源 三之四	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//62	111205703	天明八年
63	標題起源 五	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//63	111205704	寛政二年
64	標題起源 六	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//64	111205705	
65	算法雜記 八	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//65	111205706	
66	算法雜記 九	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//66	111205707	
67	算法雜記 十	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//67	111205708	
68	自在門之江來問並門子術之内秘術	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//68	111205709	寛政六年
69	諸約混一術 上	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//69	111205710	天明甲辰
70	諸約混一術 中	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//70	111205711	
71	諸約混一術 下	會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//71	111205712	
72	精要算法起源改精卷之一	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//72	111205713	
73	精要算法起源改精卷之二	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//73	111205714	
74	精要算法起源改精卷之三	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//74	111205715	

75	精要算法起源改精卷之四	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//75	111205716	
76	精要算法起源改精卷之五	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//76	111205717	
77	精要算法起源改精卷之六	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//77	111205718	
78	精要算法起源改精卷之七	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//78	111205719	
79	精要算法起源改精卷之八	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//79	111205720	
80	算法招差貫通法			419.1//シカマ//80	111205721	
81	累裁招差法起源 一	最上流元祖 會田算左衛門安明	*	419.1//シカマ//81	111205722	
82	福成算法	神谷定令元謹序		419.1//シカマ//82	111205723	
83	揆乱算法	神谷定令元帥識		419.1//シカマ//83	111205724	寛政十一年
84	非改精算法	神谷定令元帥識		419.1//シカマ//84	111205725	天明六年
85	拾璣算法起源 卷ノ二	最上流 齋藤繁之丞尚仲 撰		419.1//シカマ//85	111205726	
86	平方算題術	最上流直傳 齋藤繁之丞尚仲 著		419.1//シカマ//86	111205727	
87	算法側円術	齋藤繁之丞尚仲	*	419.1//シカマ//87	111205728	
88	算法分合術 前編	最上流二傳 高橋吉衛門仲善	*	419.1//シカマ//88	111205729	
89	算法分合術 後編	最上流二傳 高橋吉衛門仲善	*	419.1//シカマ//89	111205730	
90	天生法圖類	最上流二傳 高橋吉衛門仲善	*	419.1//シカマ//90	111205731	
91	最上流 関流元祖先生墓碑寫	最上流三傳 齋藤忠吉	*	419.1//シカマ//91	111205732	
92	天生法圖中三圖術	最上流三傳 齋藤忠吉	*	419.1//シカマ//92	111205733	
93	旭坐先生碑	最上流三傳 齋藤忠吉	*	419.1//シカマ//93	111205734	
94	算法大意	最上流三傳 齋藤忠吉		419.1//シカマ//94	111205735	
95	山縣八幡宮奉納算題起源	最上流三傳 齋藤忠吉		419.1//シカマ//95	111205736	
96	最上流算法妙題助術	最上流五傳 志鎌小平治安重		419.1//シカマ//96	111205737	
97	最上流算法測量雜集	志鎌小平治安重		419.1//シカマ//97	111205738	明治廿一年
98	算法三傳集	最上流 武田徳治定恒編		419.1//シカマ//98	111205739	
99	礪最上流算礪源氏香	最上五傳 武田徳治定恒	*	419.1//シカマ//99	111205740	
100	剩一剩一術	武田徳治定恒編		419.1//シカマ//100	111205741	
101	演段諸題集	武田徳治定恒編		419.1//シカマ//101	111205742	元治元年
102	算法身之加減 一	渡邊一貫		419.1//シカマ//102	111205743	天保元年
103	算法身之加減 二	渡邊治右門一		419.1//シカマ//103	111205744	
104	算法身之加減 三	渡邊治右門一		419.1//シカマ//104	111205745	
105	算法身之加減 四	渡邊治右門一		419.1//シカマ//105	111205746	
106	算法身之加減 五	渡邊治右門一		419.1//シカマ//106	111205747	
107	算法身之加減 統編	渡邊治右門一		419.1//シカマ//107	111205748	
108	算法身之加減 附録	渡邊治右門一		419.1//シカマ//108	111205749	
109	最上流庄壽傳	齋藤尚善 写		419.1//シカマ//109	111205750	
110	見盤術 分見術	武田石山壽昇編		419.1//シカマ//110	111205751	
111	算法初術 二			419.1//シカマ//111	111205752	
112	從立法至七乗方開術			419.1//シカマ//112	111205753	
113	零約術			419.1//シカマ//113	111205754	
114	杵形自在傳	舟山惣治郎		419.1//シカマ//114	111205755	
115	古今通覽側圓起源			419.1//シカマ//115	111205756	
116	続神壁等法起源 上			419.1//シカマ//116	111205757	
117	続神壁等法起源 下			419.1//シカマ//117	111205758	
118	判談物控書			419.1//シカマ//118	111205759	
119	算法諸術			419.1//シカマ//119	111205760	
120	二精評註	坂正永 評選		419.1//シカマ//120	111205761	
121	(丁ノ方)			419.1//シカマ//121	111205762	
122	庚戌雜集			419.1//シカマ//122	111205763	
123	算法追善集	佐久間二郎太郎藤原正方 撰		419.1//シカマ//123	111205764	天保十一年
124	算法盜形指南	福田彦兵衛		419.1//シカマ//124	111205765	文政三年
125	田畑坪割之事 完	志鎌重兵衛写		419.1//シカマ//125	111205766	
126	適尽法級方解	和田圓象考之		419.1//シカマ//126	111205767	
127	数理雜纂 天			419.1//シカマ//127	111205768	
128	数理雜纂 地			419.1//シカマ//128	111205769	
129	数理雜纂 不全			419.1//シカマ//129	111205770	
130	西洋測略序			419.1//シカマ//130	111205771	天保七年
131	極數術起源	岩田專平好算述		419.1//シカマ//131	111205772	嘉永元年
132	四率起源稿			419.1//シカマ//132	111205773	
133	算法	西川正体誌		419.1//シカマ//133	111205774	享保元年
134	オクタント測法			419.1//シカマ//134	111205775	
135	閑際筆記抄			419.1//シカマ//135	111205776	
136	TERU			419.1//シカマ//136	111205777	
137	ABERRATIE			419.1//シカマ//137	111205778	
138	NUTATIE	洪川景佑		419.1//シカマ//138	111205779	
139	最上流算法天生法指南 復刻	會田算左衛門安明先生百五十年祭記念出版		419.1//シカマ//139	111205780	昭和41年
140	自在物談	會田算左衛門安明先生百五十年祭記念出版		419.1//シカマ//140	111205781	昭和41年
141	最上流和算の改祖 會田算左衛門安明先生150年祭記念展出品目録	會田算左衛門安明先生百五十年祭記念出版		419.1//シカマ//141	111205782	
142	會田先生算学塚銘			419.1//シカマ//142	111205783	
143	繁利法			419.1//シカマ//143	111205784	
144	明治早割算法独稽古	青地兼治編輯		419.1//シカマ//144	111205785	明治16年
145	算法諸術密傳集			419.1//シカマ//145	111205786	
146	山形市南部土地測量図			419.1//シカマ//146	111205787	

\* 「直筆本」と付箋がついているもの





平成25年3月5日  
山形大学

## 「夢からビジネスへ」山形大学有機エレクトロニクス イノベーションセンター 4月から開発研究をスタート

米沢市オフィス・アルカディアに建設中の山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターは、4月の開所に向けて、準備の最終状況に入りました。概要と今後の予定についてご紹介します。

米沢市オフィス・アルカディアに建設中の山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター（以下、センターと表記）について、4月の開所に向けての、最終準備段階に入りました。現在、装置の搬入を開始したところで、3月中旬までに装置の設置も完了する予定です。

センター紹介のパンフレットも作成いたしました。「夢からビジネスへ」をキャッチフレーズに、山形大学にて長年積み重ねてきた、**夢の技術**、未来の技術である有機エレクトロニクスを、**現実のビジネス**へと展開させることを目標としています。

センターは経済産業省の補助金を基に山形県、米沢市の支援を受けて建設し、運営も**産官学連携**で行います。産としては、運営支援組織として、民間企業による

**有機エレクトロニクスイノベーションコンソーシアム**の設立準備を進めているところで、平成25年2月1日には、東京にて同コンソーシアムの説明会を開催しました（参加：77機関99名）。また官としては、山形県、米沢市、経済産業省、文部科学省他の支援を受ける予定です。

現在、建屋はほぼ完成したところで、3月中に開発装置の搬入設置、4月から本格的に開発研究をスタートする計画です。**開所式は9月**を予定しています。



2013.01.24 撮影

お問い合わせ先  
工学部研究プロジェクト支援室  
Tel:0238-26-3590

平成25年4月開所予定

# 夢からビジネスへ

— 先端技術の実証研究拠点 —

**INOVEL**  
 Innovation Center for Organic Electronics

山形大学  
**有機エレクトロニクスイノベーションセンター**  
 Innovation Center for Organic Electronics



経済産業省 / 先端技術実証・評価設備整備費等補助金（「技術の橋渡し拠点」整備事業）  
 文部科学省 / 地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）  
 山形県 / 山形県産業界技術振興機構 / 米沢市

## 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターが目指す機能

- 先端技術の開発・共同研究開発拠点としての機能
- 標準化・知的財産構築等の活動
- スーパーイノベーターをハブとした開発・実証研究
- 有機エレクトロニクス研究センターとの連携による最先端科学技術
- 知のネットワーク構築「イノベーションネットワーク」
- 先端機器の利活用推進「機器共有ネットワーク」

## 人材育成プログラム

高度人材 (REMT) 育成プログラム

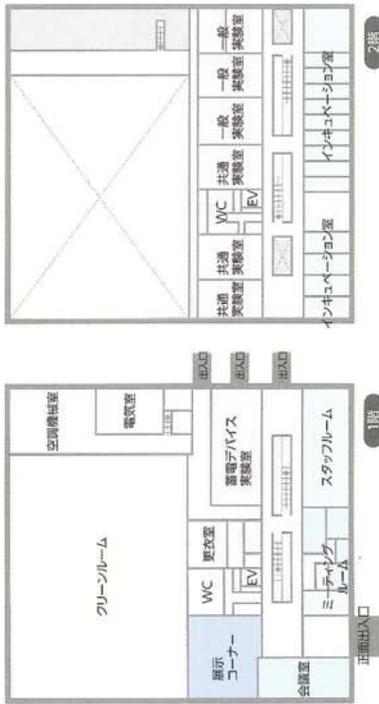
<b>Researcher</b> 先端研究開発人材	<b>Engineer</b> 高度開発技術人材	<b>Management</b> 技術経営人材	<b>Technician</b> 高度基礎技術人材
<ul style="list-style-type: none"> <li>主担当部署: 社会人・大学院生</li> <li>主担当部署: 有機エレクトロニクス</li> <li>主担当部署: 先端研究を推進する研究者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主担当部署: 企業技術者</li> <li>主担当部署: 有機エレクトロニクス先端技術開発を推進する技術者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主担当部署: 企業経営者・金融・支援機関</li> <li>主担当部署: 有機エレクトロニクス技術動向に鑑み、産業化推進する経営者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主担当部署: 企業技術者</li> <li>主担当部署: 有機エレクトロニクス研究開発を支援、生産を担うテクニシャン</li> </ul>

## 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター施設概要

経済産業省 先端技術実証・評価設備整備費等補助金（「技術の橋渡し拠点」整備事業）  
 文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）

先進性、コミュニケーション場、安全・快適な研究環境

- 総面積 / 4,367㎡、2階建て
- フリールーム / 1,200㎡
- オープン実験室
- オフイス
- 有機ELデバイス等評価用レンタル暗室スペース
- インキュベーション室
- 会議室
- 展示スペース



施設内にはインキュベーション（企業派遣者が常駐できるレンタルオフィス）を設置し、企業からの要望に反応、製品の实用化に繋がる研究を効率的に進められるよう支援します。

## アクセス



平成25年4月開所予定

山形大学  
**有機エレクトロニクスイノベーションセンター**  
 〒992-0119 山形県米沢市アルカティア1丁目808番48

お問合せ

【連絡先】

〒992-8510 山形県米沢市城崎4丁目3-16  
 (山形大学工学部10号館研究プロジェクト支援室)  
 TEL / 0238-26-3590 FAX / 0238-26-3240  
 URL / <http://organic.yz.yamagata-u.ac.jp/inovel/>

※この図面等は、印刷時の版へ入力が完了した状態です。



平成25年 3月 5日  
山形大学

## ダダチャマメ新品種「アベチャ33」が品種登録

山形大学開発のエダマメダイズ用新品種「アベチャ33」が、  
平成25年2月26日付で品種登録され、官報により公示されました。

山形大学開発のエダマメダイズ用新品種「アベチャ33」が、平成21年2月に品種登録申請し平成25年2月26日付で品種登録され、農林水産大臣名で交付されました。

庄内地方で栽培されているダダチャマメ品種で、これまでに品種登録されているものは全くなく、この「アベチャ33」がダダチャマメ系で最初の品種登録です。

この「アベチャ33」は、山形大学農学部の阿部 利徳教授が育成したものです。

### ・主な特性

ダダチャマメ新品種「アベチャ33」は、白山ダダチャに 線を照射した後代から大粒変異系統として選抜したもので、種子重が10%重く、100粒重が28gあり、また白山ダダチャと比較して主茎長が5cm長く、さらに開花期および収穫期が4日遅い中生の品種である。多収であり、成分・品質は白山ダダチャと同様に良食味である。

エダマメ生産の立場からのメリットとして、良食味ダダチャマメの収穫期の幅を拡大するのに有効である。

### ・育成経過

平成15年5月に、農業生物資源研究所ガンマルームにおいて100Gyの線を照射し、200個体を栽培した。この中から、農業形質が良好で、種子がやや大粒である44株を選抜した。

平成16年には大粒の9系統群28系統を選抜した。

平成17年には3系統群11系統に絞り込み選抜した。

平成18年に11系統の特性調査を行い、大粒の形質を示す6系統を選抜した。

平成19年にこの6系統の特性調査を継続し、大粒の形質を示し、実用形質に優れた1系統を選抜した。

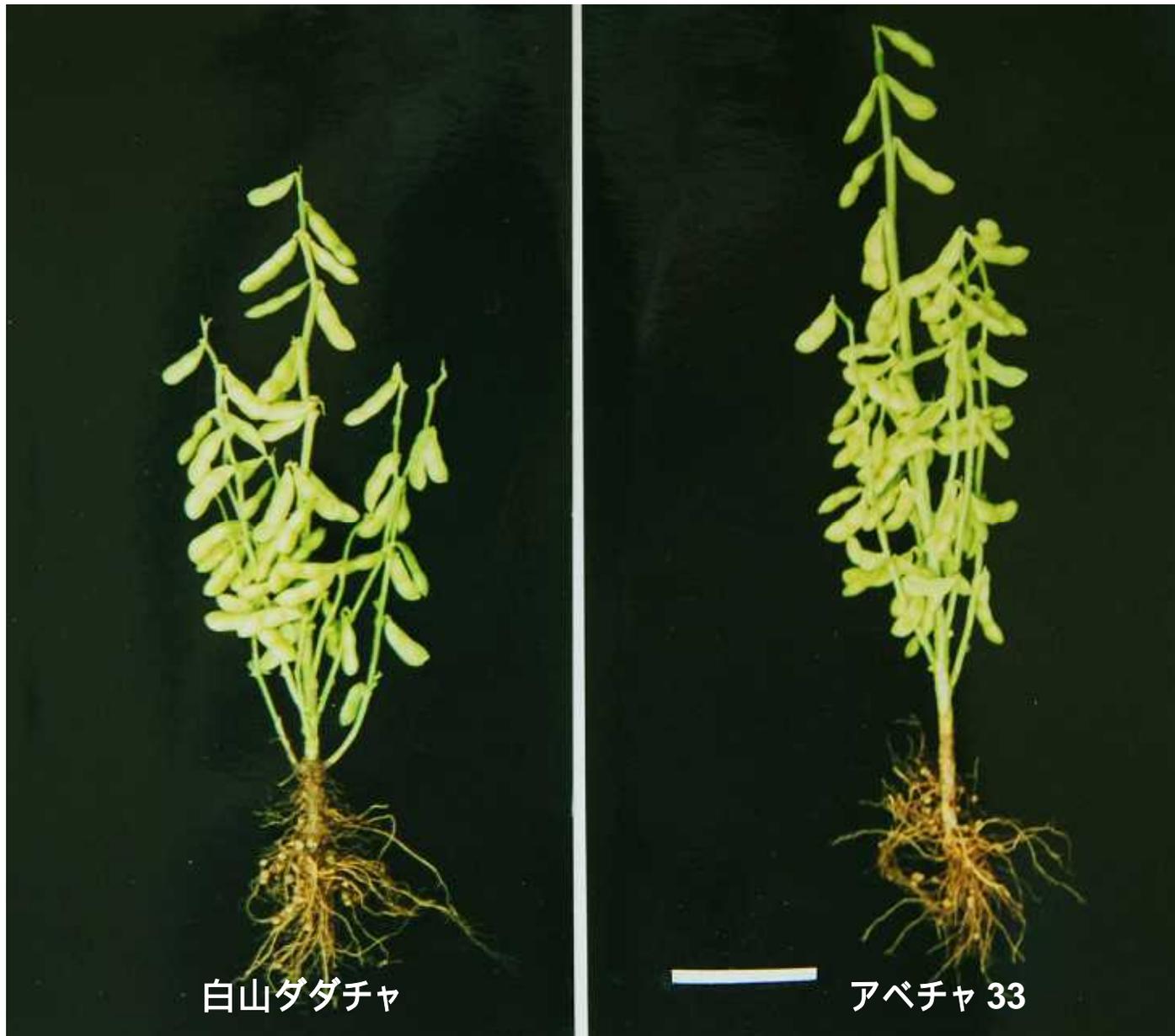
原品種より純系選抜したこの系統は、原品種と比較して、主茎長が約5cm長く、種子がやや大粒で、開花期が約4日遅くなるという特徴を示した。

(お問合せ先)

山形大学農学部企画広報室

電話：0235(28)2803

## 新品種、アベチャ33の莢付き株



## 新品種、アベチャ33の草姿



# 新品種、アベチャ33の完熟子実



白山ダダチャ

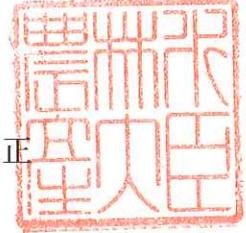


アベチャ 33

24食産第5246号  
平成25年2月26日

国立大学法人山形大学 殿

農林水産大臣 林 芳正



種苗法による品種登録について

先に出願のあった「Glycine max (L.) Merr.」、「アベチャ33」については、この度別添のとおり品種登録がなされ官報により公示されたので、お知らせします。

1 品種登録の番号及び年月日 第22311号 平成25年 2月26日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称  
Glycine max (L.) Merr. アベチャ33 (アベチャ33)

3 登録品種の特性の概要

胚軸のアントシアニン着色の有無は無、伸育型は有限、分枝の数はやや少、草姿は直立～斜上、茎の毛じの色は褐、茎の長さは中、茎の節数はやや多、側小葉の形は鋭先卵形、花の色は白、最下着きょう節位の高さは中、裂きょうの難易は中、熟さやの色の濃淡は中、子実の大きさ（一般群の品種に限る。）はやや大、子実の形は偏楕円体、種皮の単色複色の別は単色、種皮の地色は褐、子実のへその色は淡褐、子実の子葉の色は黄、開花始期はやや早、成熟期はやや早、生態型は中間型である。

出願品種「アベチャ33」は、対照品種「白山ダダチャ」と比較して、着きょう密度（枝豆用品種に限る。）がやや粗であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所  
国立大学法人山形大学  
山形県山形市小白川町一丁目4番12号

6 登録品種の育成をした者の氏名  
阿部利徳

7 出願公表の年月日 平成21年2月23日

平成25年3月5日

山形大学

## 学生が編纂した“スマイルエンジン山形の活動記録本”出版

震災直後から活動を開始し、これまでに約1,800名のボランティアを被災地支援に送り出した「スマイルエンジン山形」の活動記録本を、3月11日に出版します。

2011年5月から運用が開始された山形大学と東北芸術工科大学の教職員および学生有志による復興支援活動「スマイルエンジン山形」の活動記録を、両大学の学生が執筆・デザイン・イラスト・編集を担当し本にまとめ、2013年3月11日に出版することとなりました。

### 本のタイトル:

「ぼくらのスマイルエンジン - 東日本大震災 学生ボランティアバスの記録 - 」

この本は、2011年5月に運用が開始されたスタートアップ便から、2013年2月の最終便までの軌跡を学生自身が運行記録としてまとめています。復興支援活動の立ち上げと運用に実際に携わってきた学生スタッフによる現場からの目線でまとめ上げた活動記録本となっています。またボランティア活動に必要な道具の説明や、震災以降の社会の動きを年表形式でまとめたデータも掲載されています。多くの学生達に読んでもらえるように、価格設定も500円（税込）としています。

本の出版とこれまでの活動についての報告会を3月下旬に実施予定です。

(お問い合わせ先)

山形大学 渉外部 渉外課  
大学連携担当

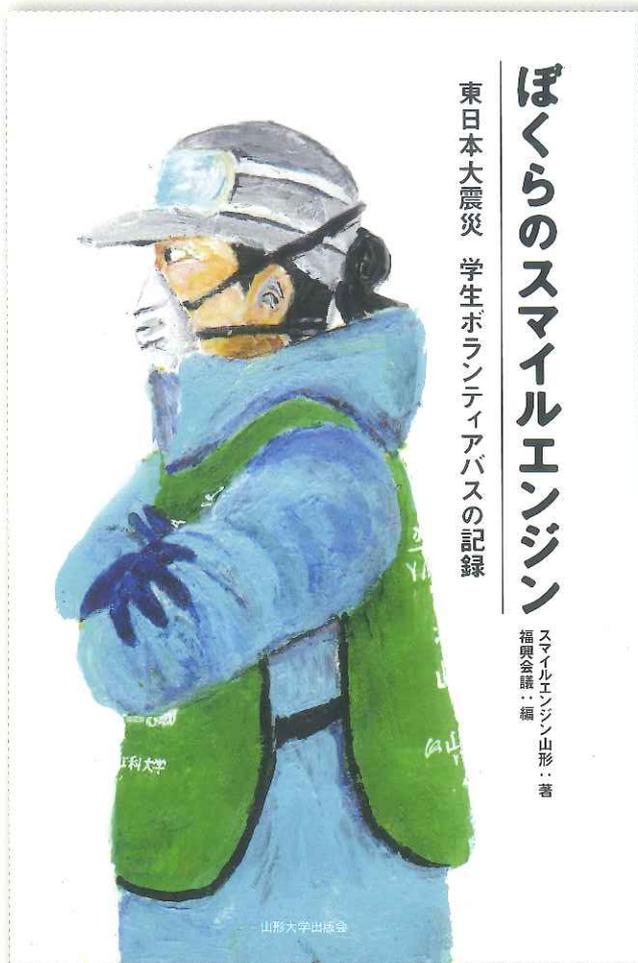
Tel 023-628-4842 fax 023-628-4820

[daiaren@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:daiaren@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

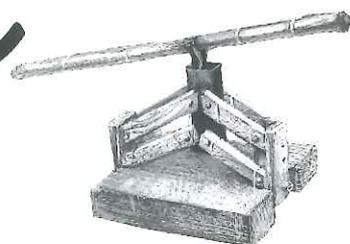
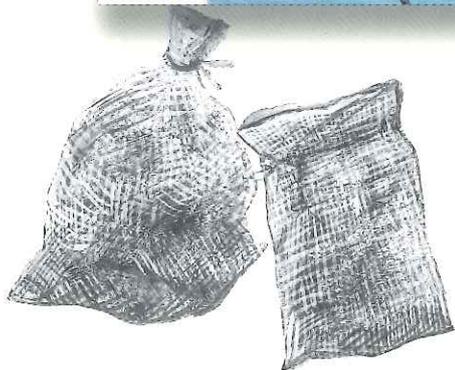
スマイルエンジン山形…著  
福興会議…編

# ぼくらのスマイルエンジン

東日本大震災 学生ボランティアバスの記録



体裁:A5 128頁  
定価:本体476円+税



毎週土曜の朝6:00。山形から学生を乗せて東日本大震災の被災地に走り続けたボランティアバス『スマイルエンジン山形』。「自分たちにできることは何か?」…運営を担ったのは学生リーダーたち。被災地の変化や、ボランティアの意義に悩みながら、走り続けた2年間の全記録――。

発行  
山形大学出版会 〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12  
TEL023-681-3158 FAX023-684-5611

取扱書店	発売所名 山形大学出版会 山形県山形市小白川町1丁目4-12 TEL023(681)3158
	定価 本体476円(税込500円)
	注文数
ISBN978-4-903966-15-1 C0095 ¥476E	
	冊

月  
日

はじめに	2
スマイルエンジン山形の活動サイクル	6
<b>第一章 土曜の朝は被災地へ</b>	
01 墓をあける	10
02 取り残された家	12
03 学生リーダー	14
アンケートより	16
04 きびしいアドバイス	18
05 おばあさんの杖	20
06 はじめて仮設住宅へ	22
07 湯屋差	24
08 牡鹿半島へ	26
09 写真を焼く	28
10 おそろしい熱中症	30
11 トマトの話	32
12 語る話が鎮魂になる	34
13 京都の学生たちと	36
14 フラッシュバック	38
コラム〈準備品〉	42

**第三章 いつまで、どこまで走り続けるのか**

22 全員の家に住む人	66
23 「ここやる意味あるの？」	68
24 そろそろ……	70
25 ボランティアを支援するボランティア	72
26 続ボランティアを支援するボランティア	74
27 ふたたび牡鹿半島へ	76
28 初心の確認	78
29 凍てつく浜	80
30 風景を串う	82
コラム〈リーダーのみなさん〉	86

**第二章 溪地区で**

15 渦巻いている	46
16 意見の衝突	48
17 工場裏の再建	50
18 チーム神戸と出会う	52
19 復興の想の音	54
20 それぞれが考える	56
21 学生代表の交代	58
探っていく力	60
コラム〈食べ物〉	62

**第四章 ボランティアは日常**

31 子どもがいる風景	90
32 畑の土を掘り起こす	92
33 六本木で100台のベンチをつくる	94
34 もうすぐ一年	96
35 スポーツ少年団の再開	98
36 土薙りレールの違和感	100
37 雨の荒浜に立つ	102
38 灼熱の砂浜	104
39 京都の学生たちと再会	106
40 経験の差	108
41 水平線を眺めながら	110
42 余震	112
43 今日何を思ったか、 これからの生き方をどう変えていくか	114
傾聴するコミュニケーション	116
コラム〈忘れられない風景〉	118
あとがき〈震災は終わらない〉	120
謝辞〈筆者一覽〉	122
リーダー	
活動年表	124
活動マップ	128

平成25年3月5日  
山形大学

## ガジヤマダ大学（インドネシア）と大学間交流協定を締結

安田副学長（国際交流担当）らが大学間交流協定の締結と研究交流の推進のため、インドネシアのガジヤマダ大学を訪問しました。

2013年2月18日に、安田弘法副学長（国際交流担当）らがガジヤマダ大学（インドネシア）を訪問し大学間交流協定を締結しました。2002年にガジヤマダ大学林学部及び農学部と本学農学部が学部間交流協定を締結しており、この度の大学間交流協定締結により更なる交流が期待されます。

ガジヤマダ大学は18学部・1研究科を有し、約54,000人が学ぶ総合大学です。世界的に有名な仏教遺跡のボロブドールがあるインドネシア有数の古都・ジョグジャカルタにあります。

調印式では両大学間の教育・研究における交流、学生の短期留学及び同大学における本学の国際交流拠点の設置等について、意見交換を行いました。調印式後、学生・教職員を対象としたセミナーを開催し、安田副学長による山形大学の紹介や、同行した国際交流担当の大崎教授による進化生態学に関する研究の紹介があり、活発な質疑応答がなされました。

なお、7月初旬から大崎教授が2ヶ月間現地に滞在し、学生や研究者と交流を行い、山形大学の国際拠点として情報を発信する予定です。



調印後、Karnawati副学長と



安田副学長による山形大学の紹介

（お問合せ先）

山形大学渉外部国際交流室

三宅和広

電話 023-628-4118

平成25年3月5日

山形大学

## 山形大学とサラマンカ大学（スペイン）が大学間交流協定を締結

平成25年3月1日に、サラマンカ大学（スペイン）で、本学安田理事・副学長（国際交流担当）とDaniel Hernandez Ruiperezサラマンカ大学長が、学術交流協定書及び学生交流に関する調印式を行いました。

山形大学は、サラマンカ大学（スペイン語表記：Universidad de Salamanca）と大学間交流協定を締結しました。同大学は、スペインの首都マドリードの西北西約200kmに位置する都市サラマンカにある大学であり、63の学科で約32,000人の学生が学ぶ、歴史と伝統のある総合大学です。平成25年3月1日にサラマンカ大学で行われた調印式では、両大学関係者及び多数の現地マスコミ関係者が見守る中で、安田弘法理事・副学長（国際交流担当）とDaniel Hernandez Ruiperezサラマンカ大学長が、学術交流協定書及び学生交流に関する覚書にサインしました。なお、調印後に行われた記者会見及び懇談会では、活発な学術研究を促進するとともに学生の交流はもちろん教職員の交流も積極的に進めていくことが確認されました。

### 1 本協定について

#### (1) 調印式

日時：平成25年3月1日（金）12時00分

場所：サラマンカ大学

締結者：サラマンカ大学長 Daniel Hernandez Ruiperez

山形大学理事・副学長（国際交流担当） 安田弘法

#### (2) 協定内容

- ① 教職員及び学生の交流
- ② 共同研究活動
- ③ 教育及び研究に関する情報の交換



調印式の様子（前列中央左が安田理事・副学長、大勢のマスコミに見守られて行われた調印式の様子  
前列中央がDanielサラマンカ学長）

## 2 サラマンカ大学の概要について

サラマンカ大学は、1218年にレオン王国のアルフォン9世によって設立され、現存するスペイン最古の大学であり、オックスフォード大学・ケンブリッジ大学・パリ大学・ボローニャ大学と並び、ヨーロッパで最も古く権威のある大学の1つとして知られている。大航海時代には、天文学などに基づいた航海計画が綿密に練られた場所となり、宗教改革後は、ヨーロッパにおけるカトリック神学の中心ともなった。同大学は、スペイン国内外に多くの偉大なる学者を輩出し、スペインおよび新大陸での大学のモデルともなり、学問の殿堂としての重要な役割を今日まで果たしてきた。なお、1988年には、サラマンカの旧市街とともにユネスコの世界遺産に登録された。我が国との関係で言えば、天皇・皇后両陛下が皇太子時代を含めて2度サラマンカを訪れたことを契機として日西センターが設置されることとなり、日本語教育及び日本文化教育が盛んに行われていることでも有名である。

## 3 山形大学のこれまでの大学間協定締結状況について 25カ国・地域の56機関（平成25年3月5日現在）

## 4 サラマンカ大学ホームページでの紹介記事について <http://saladeprensa.usal.es/webusal/node/29724>



サラマンカ大学の図書館



中世の面影を色濃く残すサラマンカ市街

（お問合せ先）  
山形大学渉外部国際交流室  
三宅和広  
電話 023-628-4118

平成25年3月5日  
山形大学

## 山形大学附属博物館を活用した中学生向けの体験学習プログラム

### 「一日山大生になろう！」を開催

近くにあるのに、よく知らない「ダイガク」。  
「ダイガク」を知りたいみなさんのための、体験入学講座を行います。  
さあ！キミも「一日山大生」になってみませんか？

本事業は、大学に蓄積された学術研究成果および研究環境を活用し、多様化するカリキュラムに対応した新たな学習プログラムの開発を目指すものです。これまでも地域社会に対する窓口として活動してきた大学博物館をベースに、そのリソースとノウハウを活用します。今回は、将来の職業観および進路観を育むうえで重要な時期といえる中学生を対象とし、理系・人文系両方のワークショップを体験することにより、高等教育の広さと深さを体感し、自分の適性を確認するとともに将来の学びについて考えるきっかけを作ることを目的とします。

主催 山形大学附属博物館  
日時 平成25年3月22日（金）10：00～15：00  
対象 山形市内在住中学生  
定員 10名（先着順）  
体験内容 理系体験「まだ名前がない山形の生き物を見てみよう」  
文系体験「昔のお金を作ろう ～日本のお金のルーツをさぐる～」  
その他、入学式・修了式、学食体験なども予定しています

（お問合せ先）  
渉外部渉外課（社会連携・図書担当）  
大谷 ゆき  
電話 4016  
メール k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学で学べることって何だろう？  
大学の先生ってどんな人？  
大学ってどんなところ？

近くにあるのに、よく知らない「ダイガク」。  
「ダイガク」を知りたいみなさんのための、  
体験入学講座を行います。

さあ！キミも、  
「一日山大生」になってみませんか？



一  
日  
山  
大  
生  
に  
な  
ら  
う  
！

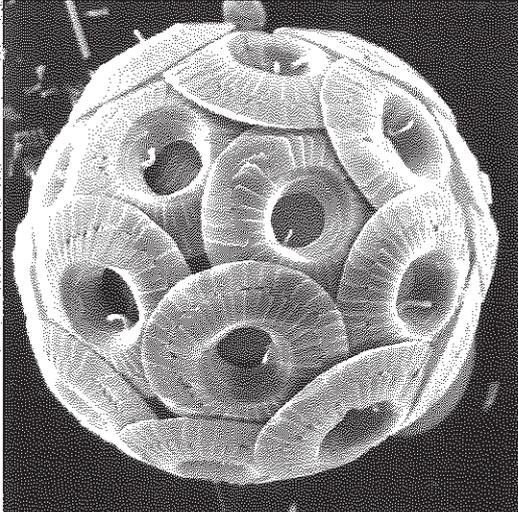
● ● ● ● ● ●  
期日 \* 2013年 3月 22日(金)

時間 \* 10:00 ~ 15:00

参加費 \* 無料

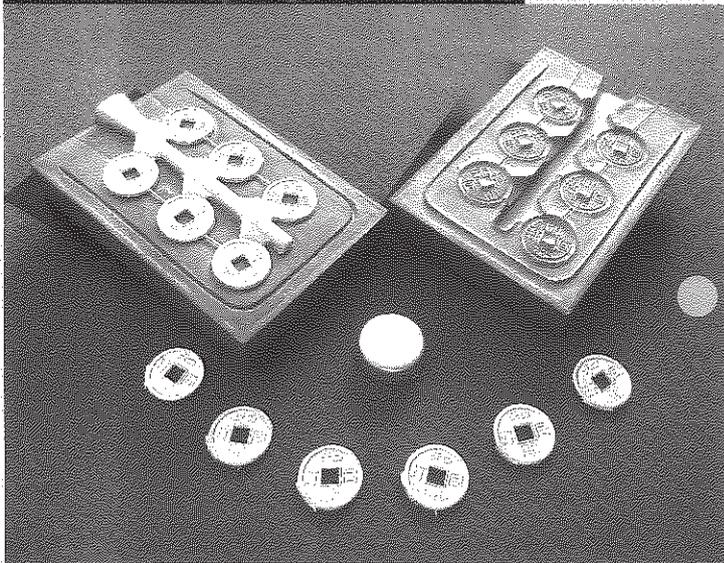
対 象 \* 山形市内在住中学生

定 員 \* 10名



## プログラム

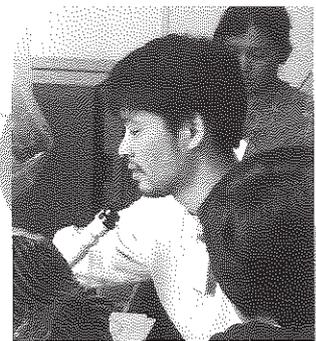
- 9:30 受付開始 (集合場所: SCITA センター)
- 10:00 ~ 10:30 入学式・附属博物館見学
- 10:30 ~ 12:00 理系体験「まだ名前がない山形の生き物を見てみよう」
- 12:00 ~ 13:00 学食体験 (昼食代は各自でご負担下さい。持参弁当も可。)
- 13:00 ~ 14:30 文系体験「昔のお金を作ろう～日本のお金のルーツを探る～」
- 14:30 ~ 15:00 修了式、完成品の手渡し



## teachers



人文系担当教員  
三上 喜孝  
(日本史)



理系担当教員  
岩滝 光儀  
(藻類系統分類学)

## 保護者・先生方へのご案内

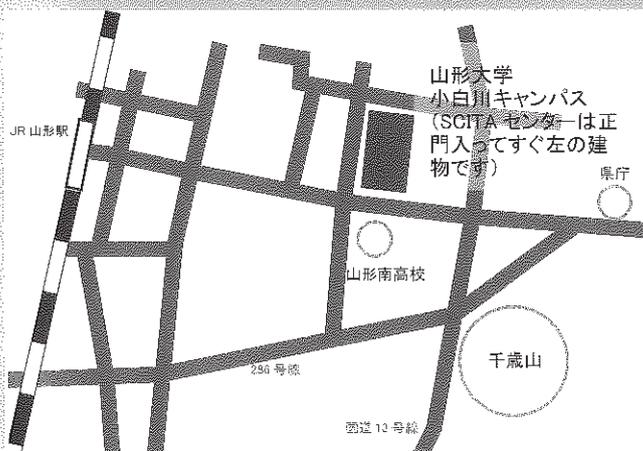
本事業は、大学に蓄積された研究成果および研究環境を活用し、多様化するカリキュラムに対応した新たな学習プログラムの開発を目指すものです。今回は、将来の職業観および進路観を育むうえで重要な時期と言える中学生を対象とし、普段見ることのない大学内の研究活動に多く触れていただきたいと思います。理系・人文系両方のワークショップを体験することにより、高等教育の広さと深さを体感し、自分の適性を確認するとともに将来の学びについて考えるきっかけとなりましたら幸いです。



コーディネーター教員  
佐藤 琴  
(博物館学・日本美術史)

## 応募方法 (定員10名)

メールまたは FAX で必要事項を記入の上、下記応募先までお寄せください。お電話でのお申し込みも受け付けます。  
必要事項 (氏名/ふりがな/所属中学校・学年/連絡先電話番号・メールアドレス又は FAX 番号)



山形大学小白川キャンパスまでのアクセス  
(自家用車) JR 山形駅から県庁方面、山形南高等学校の十字路を左折。右手側にキャンパスがあります。  
(路線バス) 県庁方面行き、南高前バス停下車徒歩5分。

応募・お問い合わせ先  
山形大学 渉外部渉外課 (図書・社会連携担当)  
担当: 大谷 ゆき  
TEL: 023-628-4016  
FAX: 023-628-4849  
E-mail: k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学附属博物館にも遊びに来てね!  
平日 9:00~17:00 開館中。  
小白川図書館3階にあります。どなたでも入館でき、入館料は無料です☆  
春休みのこの時期、来てくれた方にマスコットキャラクター、「土俵のケッパちゃん」マグネットを差し上げます。お楽しみに!

# プレス通知資料（概要）

平成25年3月5日  
山形大学

## 1. 平成24年度 置賜マイクロ・ナノバイオフォーラム

「微生物反応を利用した産業創出 ～生命・化学・産業～」を開催します。

日時: 3月29日(土) 13:00～17:30(12:00 開場)

場所: 伝国の杜・置賜文化ホール(米沢市丸の内1-2-1)

入場無料

(詳しくは、別添の資料をご覧ください)

## 2. 山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

3月17日(日)11時から鶴岡地区、3月20日(水・祝日)10時から米沢地区、3月25日(月)10時から山形地区の学位記授与式を開催します。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

(詳しくは、別添の資料をご覧ください)

## 3. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント

### 山形県民シンポジウム 挑戦！山形で活躍する人づくりを開催！！

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、【美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開】が採択され、山形大学を中心に、11の高等教育機関及び7の自治体・経済団体が連携して事業をスタートし、キックオフシンポジウムを開催します。

日時: 3月15日(金) 13:30～17:00(受付 13:00 より)

場所: ホテルキャッスル(2F 弥生の間)

入場無料

(詳しくは、別添の資料をご覧ください)

# 平成24年度 置賜マイクロ・ナノバイオフィォーラム

## 微生物反応を利用した産業創出

### ～生命・化学・産業～

日時 平成25年 **3月29日** (金) 開場12:00～  
開演13:00～

場所 **伝国の杜・置賜文化ホール**  
山形県米沢市丸の内1-2-1 TEL:0238-26-2666



はじめに 13:00～13:05 飯塚 博 (山形大学工学部長・山形大学国際事業化研究センター長)

拠点紹介 13:05～13:15

「微生物による知と産の創造と持続的発展」  
原 富次郎 (山形大学産学連携教授)

特別講演 13:15～13:55

「微生物と資材を組み合わせたPOPs汚染土壌のバイオレメディエーション」  
高木 和広 (農業環境技術研究所有機化学物質研究領域上席研究員)

招待講演 13:55～14:35

「これからの産業活動と環境対策について」  
實國 慎一 (経済産業省 産業技術環境局環境指導室長)

一般講演 14:35～15:15

「微生物によるポリ塩化ビフェニル類の無害化」  
高塚由美子 (山形大学大学院理工学研究科特別研究員)  
「マイクロバブルの機能と応用」  
幕田 寿典 (山形大学大学院理工学研究科助教)

企業講演 15:15～15:35

「枯渇する水資源と水再生システム」  
内田 誠 (三菱レイヨン(株)アクア事業部長)

特別講演 15:45～16:25

「酵母を利用した健康科学への挑戦」  
井上 善晴 (京都大学大学院農学研究科准教授)

企業講演 16:25～17:25

「京都・伏見の酒造りと微生物の関与」  
若井 芳則 (黄桜(株)専務取締役)  
「病原菌としての大腸菌(特に腸管出血性大腸菌)」  
佐藤 寿夫 (株)日本微生物研究所常務取締役)  
「植物工場と次世代アグリビジネスの展望」  
山口 祥司 (株)地球快適化インスティテュートチーフアナリスト)

おわりに 17:25～17:30

新國 時生 (山形大学客員教授)

※当日は小会議室で企業によるブース展示を行います。

- (株)アルプスビジネスクリエーション福島 (有機栽培トマト)
  - (有)新東物産 (微生物土壌改良材(山形県リサイクル認定製品))
- (以上予定)

主催/国立大学法人山形大学

共催/アプリザイム(株)・(株)タカハタ電子・KYB(株)・黄桜(株)・(株)日本微生物研究所・(株)三菱ケミカルホールディングス・三菱レイヨン(株)

後援/経済産業省・山形県置賜総合支庁・米沢市・山形銀行・荘内銀行・きらやか銀行・米沢信用金庫・山形新聞・山形放送

※このフォーラムは、山形県置賜総合支庁「次世代産業技術に関する先端的研究の普及啓発事業」プロジェクトの支援を受けて開催いたします。

本セミナーに関するお問い合わせはこちらまで

山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学専攻 原研究室 東 怜鹿・山田 梢  
TEL:0238-26-3387 FAX:0238-26-3387 E-mail: east@yz.yamagata-u.ac.jp

※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

# 平成24年度 置賜マイクロ・ナノバイオフィォーラム 微生物反応を利用した産業創出～生命・化学・産業～



じつくに  
**實國** 慎一 氏

経済産業省産業技術環境局環境指導室長

## 概要

これまでの産業活動を巡る環境問題とその対応の変遷を概観し、その上で、今後、産業活動に起因する環境上の課題に我々はどうのように取り組むべきかを紹介する。

## プロフィール

平成5年、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。平成5年、経済産業省入省、競争政策、電力市場改革、地域政策等の業務に従事後、平成19年、北海道経済産業局総務課長。平成21年、製造産業局化学物質安全室長を経て、平成24年から産業技術環境局環境指導室長。



たかぎ  
**高木** 和広 氏

農業環境技術研究所有機化学物質研究領域上席研究員

## 概要

難分解性有機汚染物質（POPs）の中で環状ジエン系殺虫剤のディルドリンとヘキサシクロシクロヘキサンを中心に、新規分解菌とその分解代謝経路について最新の研究成果を発表する。さらに、これら分解菌を用いた汚染土壌のバイオレメディエーション技術についても紹介する。

## プロフィール

平成3年3月、東京大学農学系大学院農芸化学専攻博士課程修了農学博士。平成3～5年EC（現EU：ヨーロッパ連合）博士研究員として独バイエル植物防疫中央研究所勤務。同5年10月、農林水産省農業環境技術研究所研究員。同8年4月、同所資材動態部主任研究官。同12年4月、東京農業大学非常勤講師（土壌微生物学担当）併任。同13年4月、独）農業環境技術研究所化学環境部有機化学物質研究グループ主任研究員。同16年4月、東京農業大学連携大学院助教授（農芸化学専攻応用微生物学担当）併任。同19年4月、東京農業大学連携大学院教授（農芸化学専攻応用微生物学担当）併任。同24年4月、独）農業環境技術研究所有機化学物質研究領域上席研究員、現在に至る。



いのうえ  
**井上** 善晴 氏

京都大学大学院農学研究科准教授

## 概要

酵母は、古くから酒類やパンの製造などに用いられてきた。一方、酵母は高等真核生物のモデル生物として、これまでに生物学的に重要なさまざまな現象のメカニズムの解明にも貢献している。われわれは、酵母の代謝ストレス応答機構の研究を通じて得られた新たな知見を基礎として、糖尿病の発症や増悪の病態モデルを、酵母を用いて構築することにチャレンジしている。本講演では、酵母の健康科学領域への応用に向けた新しい可能性について紹介する。

## プロフィール

昭和60年、京都大学農学部食品工学科卒業。昭和62年、同大学院修士課程修了。昭和63年、同大学院博士後期課程中退。昭和63年、京都大学助手（食糧科学研究所）。平成6年～7年、アメリカカリフォルニア州立大学バークレー校、ならびにアメリカ国立衛生研究所留学。平成7年、京都大学助教授（食糧科学研究所）。平成13年、京都大学大学院農学研究科に配置替え（食糧科学研究所改組のため）。

**申込締切：平成25年3月19日の必着**

参加申し込み書（このままFAXして下さい）

**FAX:0238-26-3387**

連絡先等ご記入ください。

名前	
所属	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

お問い合わせ先\*山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学専攻 原研究室 東 怜鹿 山田 梢  
TEL:0238-26-3387 FAX:0238-26-3387 E-mail: east@yz.yamagata-u.ac.jp

平成25年3月5日  
山形大学

## 山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

平成24年度山形大学学位記授与式等を挙行いたします。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。また、学長告辞については、当日に配布いたしますが式終了後に公表願います。なお、各附属学校の卒業(園)式につきましても、併せてお知らせいたします。

### 【山形地区】

人文学部・地域教育文化学部・理学部・医学部・社会文化システム研究科・  
教育学研究科・地域教育文化研究科・理工学研究科(理学系)・医学系研究科・  
教育実践研究科・養護教諭特別科  
日 時：平成25年3月25日(月) 10:00開式  
会 場：山形県体育館(山形市)

### 【米沢地区】

工学部・理工学研究科(工学系)  
日 時：平成25年3月20日(水・祝日) 10:00開式  
会 場：米沢市営体育館(米沢市)

### 【鶴岡地区】

農学部・農学研究科  
日 時：平成25年3月17日(日) 11:00開式  
会 場：東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市)

### 【附属学校】

附属幼稚園  
日 時：平成25年3月15日(金) 10:00開式  
会 場：附属幼稚園遊戯室

附属小学校  
日 時：平成25年3月19日(火) 9:00開式  
会 場：附属小学校体育館

附属中学校  
日 時：平成25年3月16日(土) 9:00開式  
会 場：附属中学校体育館

附属特別支援学校  
日 時：平成25年3月18日(月) 10:00開式  
会 場：附属特別支援学校体育館

(お問い合わせ)  
総務部総務課  
(TEL)023-628-4006

# 挑戦！ 山形で 活躍する 人づくり

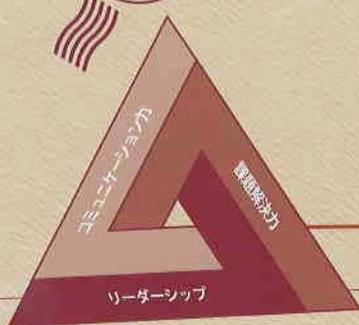
## 山形講座

## 社会人育成

美しい山形を活用した

の展開

キックオフ  
シンポジウム



日時

平成25年 **3月15日** (金)

参加無料

※シンポジウムのみ無料

定員 100名

◆シンポジウム 13:30~17:00 (13:00 受付開始) ◆情報交換会 17:30~19:30

会場

ホテルキャッスル (山形県山形市十日町 4-2-7)

◆シンポジウム 2階 弥生の間  
◆情報交換会 2階 シュノンソー



○対象：山形県民、県内企業関係者、県内自治体関係者、県内教職員関係者、学生

### 基調講演

『激動期の人材育成』 東北公益文科大学 学長 町田 睿氏

### 事業内容の紹介

①事業全体説明	山形大学 教授	横井 博氏
②各教育内容説明		
山形フィールドワーク教育	山形大学 准教授	滝澤 匡氏
山形プロジェクト教育	東北文教大学 教授	大川 健嗣氏
山形起業教育	東北芸術工科大学 講師	池田 知之氏
リーダーシップ教育	山形大学 教授	柴田 孝氏

### パネルディスカッション

テーマ「山形県における人づくり」 コーディネーター 山形大学 理事 安田弘法氏

①話題提供

- 山形県内の発展を担う人材育成への期待 山形県企画振興部企画調整課長 竹内 重貴氏
- 企業から見た人材育成への要望と展開 スズキハイテック株式会社代表取締役社長 鈴木 喜代壽氏
- 大学がなすべき人材育成のあり方 山形大学 教授 柴田 孝氏
- 学生が感じている社会に出るの不安や希望 東北芸術工科大学・東北公益文科大学 学生

②パネリストによる質疑応答と参加者との討論 ③総括・議論のまとめ

主催：大学コンソーシアムやまがた

山形大学、山形県立保健医療大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、山形県立米沢女子短期大学、羽陽学園短期大学、東北文教大学短期大学部、鶴岡工業高等専門学校、山形県立産業技術短期大学校、山形工科短期大学校

後援：山形県、山形県市長会、山形県町村会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、(社)山形県経営者協会

山形人材育成委員会 事務局

山形大学 渉外課 サテライト (大学コンソーシアムやまがた)

山形市香澄町 1 丁目 3 番 15 号 山形むらきさわビル 3 階

TEL: 023-641-2681 FAX: 023-641-2682

e-mail: sodateru-y@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/

お問合せ先

# 挑戦！ 山形で活躍する人づくり

美しい山形を活用した「社会力育成山形講座」の展開  
キックオフシンポジウム

日時

平成25年3月15日(金)

◆シンポジウム 13:30~17:00(13:00 受付開始) 2階弥生の間

◆情報交換会 17:30~19:30 2階シュノンソー

会場

ホテルキャッスル (山形県山形市十日町 4-2-7)

趣旨

社会が急激に変化する中、私たちは様々な危機を乗り越えなければなりません。持続的な成長と発展を築くためには、主体的に考える力を持ち、社会の様々な課題を解決に導く多様な人材が求められます。そのため、高等教育機関では教育の充実、学習時間の実質的な増加・確保を行うとともに、教育機関の枠を越えた連携を行い、多様かつ質の高い教育を提供することが重要となっています。

平成24年度、文部科学省が公募した『大学間連携共同教育推進事業』に『美しい山形を活用した「社会力育成山形講座」の展開』事業が採択されました。この山形講座は、山形県全域の多彩な地域資源を教育資源とした4教育分野を立ち上げ、とりまく社会の変化に対応しうるコミュニケーション力、課題解決力、リーダーシップを持った人材を育成することを重視した教育プログラムです。真に山形で必要とされる人材について考え、育てます。

プログラム

シンポジウム

1. 開会

2. 主催者挨拶

3. 第1部 (13:30)

4. 第2部 (14:40)

5. 第3部 (15:10)

6. 閉会

総合司会 山形大学学生

山形大学 学長 結城 章夫 氏

基調講演 『激動期の人材育成』 東北公益文科大学 学長 町田 睿 氏

事業内容の紹介

①事業全体説明 (山形大学 教授 横井 博 氏)

②各教育内容説明

- ◆山形フィールドワーク教育 山形大学 准教授 滝澤 匡 氏
- ◆山形プロジェクト教育 東北文教大学 教授 大川 健嗣 氏
- ◆山形起業教育 東北芸術工科大学 講師 池田 知之 氏
- ◆リーダーシップ教育 山形大学 教授 柴田 孝 氏

パネルディスカッション

テーマ「山形県における人づくり」コーディネーター 山形大学 理事 安田 弘法 氏

①話題提供

- ・山形県の発展を担う人材育成への期待  
山形県企画振興部企画調整課長 竹内 重貴 氏
  - ・企業から見た人材育成への要望と現状  
スズキハイテック株式会社 代表取締役社長 鈴木 喜代壽 氏
  - ・大学がなすべき人材育成のあり方 山形大学 教授 柴田 孝 氏
  - ・学生が感じている社会に出ての不安や希望 東北芸術工科大学・東北公益文科大学 学生
- ②パネリストによる質疑応答と参加者との討論 ③総括・議論のまとめ

◎参加申込み方法

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mailアドレス、  
情報交換会(会費4,000円)への参加の有無を明記し、  
右記のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX

023-641-2682

E-mail

sodateru-y@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込み期限/平成25年3月11日(月)(定員になり次第締め切り)

山形人材育成委員会 事務局 山形大学 渉外課 サテライト(大学コンソーシアムやまがた)

お問合せ先 山形市香澄町1丁目3番15号山形むらさきさわビル3階 TEL:023-641-2681 FAX:023-641-2682  
e-mail:sodateru-y@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/

参加申込書	[氏名]	[所属機関(部局)]
	[住所]	[電話番号]
	[E-mail]	
	[情報交換会の参加希望] (どちらかを○で囲んでください)	有 (会費4,000円) (当日会場にてお支払いください)